

図書室だより

☎4-2511 内線 816

※ご利用いただける時間は午前10時～午後6時です。

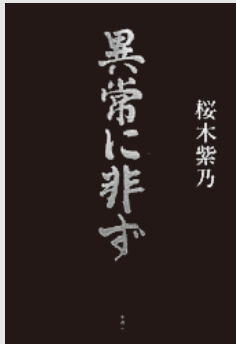
※毎週水曜日と6日(火)～8日(木)は蔵書点検のため12日(月)は祝日のため休室となります。

※図書室にある本や新しく入った本はご自宅のインターネットからも検索できます。

*アドレス <https://ilisod007.apse.jp/lib-shimokawa/>



『異常に非ず』



桜木 紫乃／著
新潮社

一人の母親は、大事に育てた子が腹の中に戻って来たと我が子を胸に抱く。母親は、もうなにも起きないとあんどする。真実に迫る小説です。

『永遠の記憶』



東野 圭吾／著
文藝春秋

「僕たちはずいぶんとたくさんさんの秘密を暴いてきた…」最新長編にして、ガリレオ最後の謎。



『ながいながいねこのおかあさん』



キューリス／ぶん
ヒグチ ユウコ／え
白泉社

こねこのおかあさんはからだがつとつてもながいねこ。あるかぜのつよいひ、ふきとばされてしまったこねこはおかあさんにあえるのでしょうか。

児童書

この他にもたくさんあります。

HALLOWEEN



戸籍の窓口 (敬称略)

(8月11日～9月10日受付)

お悔み申し上げます

住所	氏名	年齢
西町	上ヶ島 美登利	68歳
二の橋	木下一己	78歳

編集後記

9月は町内各地でイベントが開催され、多くの人で賑わいました。今年は、うどん祭りの開催時期が変更されたこともあり、例年であれば日程が重なって行くことのできなかった他市町村のイベントにも出かけてみようかと思いましたが、毎年幌加内町で開催されていた「新そば祭り」は、人手不足や高齢化などの影響により昨年をもって終了してしまい、残念ながら訪れることはできませんでした。

うどん祭りといえば、以前行われていた「百足(ムカデ)大競走」を思い出します。うどん祭りの前身の「ふるさとまつり」では、50人が足並みをそろえて走る百足競走もあり迫力満点で、息が合わなければ途中で転んでしまうこともあり、見ている側も大いに盛り上がるものです。

人口減少が進む中、「しもかわうどん祭り」が23回にわたって続いたのは、実行委員会の皆さんをはじめ、町内外の団体や事業者、そして多くの個人の皆さんの協力があってこそです。これからも下川の賑わいを絶やさないよう、みんなを支えていくことの大切さを改めて感じました。(T.K)

2026年8月末現在

人の動き()は前月比

■人口	2,725	(-3)
男	1,334	(-3)
女	1,391	(±0)
■世帯	1,563	(-2)
出生	1	死亡 2
転入	5	転出 7

交通事故死ゼロ日数
4099日